

学校教育目標： よく考え行う子 気力にあふれやりぬく子 なかよく力を合わせる子

山ノ内町教育基本目標(R5～)
 「未来に羽ばたく、豊かな文化と学びの郷土(まち)」
 ・個性の尊重と発達に応じた学力向上
 ・ESDの推進
 ・地域とともにある学校づくり

<めざす学校像>
夢を語り、笑顔があふれる学校

学校への願い (R4学校評価より)
 ①自分で考える力の育成
 ②思いやりの心の育成
 ③コミュニケーション力の向上

<めざす子ども像>
ESD：(E)いいと思うことを(S)進んで(D)できる子ども

<p>自ら考え判断する力 「なぜ」「本当にそうなの」を追究していく子ども</p>	<p>たくましく挑戦する力 試行錯誤を繰り返しながら粘り強く取り組む子ども</p>	<p>友と協力して活動する力 気づきを大事に協力し合い表現・発信していく子ども</p>
--	---	---

めざす子どもの姿を実現するための本年度の重点

子どもが自分のやり方で取り組み始める授業の創造
 ～批判的に考える力の育成 子どもの問いを切り口にして～

「問い」に寄り添う授業づくり	体験的に学ぶESD活動	自ら考え、自ら行う場づくり
◎日々の授業改善 ・ESD で育む資質・能力を目指した、単元構想と授業展開 ・子どもの「問い」に寄り添う ◎一人一公開と研修の実施 ◎外部講師を招聘しての授業改善 ◎「学びの時間」の活用 ・基礎、基本の定着 ◎家庭学習の充実 ・授業とつながる自学 ◎全国学力学習状況調査・NRTの結果活用	◎体験を通して「問い」「気づき」「自分ができることを考える」ESD活動 ・故郷(ふるさと)山ノ内町の、「ひと・もの・こと」を、学び・発見・発信する ・ESDカレンダーの作成・研修 ・SDGsの視点を据えた活動 ◎地域との交流 ・ABMORI・コカリナ・りんご・雪白舞等 ・地域講師、授業ボランティアから学ぶ ◎中学までの9年間を意識した活動 ・IN(1・2)→ABOUT(3・4)→FOR(5・6)→WITH	◎人権教育の充実 ・自分ごととして考える人権同和教育 ・多面的多角的に考える道徳 ◎認め合い支え合う学級づくり ・Q-Uの分析と活用 ・グループエンカウンター、アサーション活動 ◎あいさつ運動 ◎児童会活動の充実 交流・縦割り ◎運動の習慣づくり・元気の時間 ◎自律的な生活づくり ・メディアコントロール

ICTの利活用

【特別支援教育の充実】

○東小のスタンダードな支援(授業のUD化) ○特別支援教育の視点に立つ学級経営 ○チーム支援と外部機関との連携

東小学校運営委員会(コミュニティスクール)との連携

家庭・PTAとの連携

- ・交通安全指導
- ・生活を見直す取組(健康・家庭学習)
- ・学校環境整備
- ・メディアコントロール
- ・資源回収

幼保・2小・中との連携

- ・児童の交流(行事、学習)
- ・職員の交流・連携(研修と情報交換)
- ・幼保小、小中連絡会議・移行支援会議
- ・ICTを用いた他校との交流

地域との連携

- ・読み聞かせ、学習支援ボランティア
- ・志賀高原での活動(遠足、高原学習等)
- ・りんご栽培、雪白舞栽培等の体験
- ・ABMORIと森林再生学習
- ・見守り隊